

(イ)

劇団横浜にゆうくりあ

語り合えば、何故あの
ような芝居創りにこ
だわっているのかが解
っててくる。観合えば
その劇団の苦悩や成長
も解ってくる。演劇観
も、劇団の歴史も、劇
団の構成メンバーも、
全く違う劇団の集まり
だが、だからこそ、共
に向かって目標として、
ネットワークとして、神奈川
演劇連盟は存続意義を
もつ、と思う。

同じ時代に共に生き、
出来たことを大切に
交流をよりいっそう深
めたいと思っています。

京浜協同劇団 (イ)

演劇連盟がなかなか
身近にならないのが悩みます。仲間の
劇団には沢山の学ぶこ
とがあります。しかし現
実には担当者任せでな
ななかが芝居を見合う
ことが出来ません。

しかし連盟が再建さ
れたことで、沢山の情
報が届くようになりました。
絆や交流会で刺激を受
けました。ものすごく大事な組織だな
んて思はないのですが、空気のよう
に必要な組織になってい
ることかもしれません。

劇団河童座 (ロ)

行政などに対する要望など、圧力団体と
しての役割も当然のことながら、連盟参加劇
団が、演劇的な部分で互いに意見交流し、切
磋琢磨出来るような場を作ってもらいたい。
今まで行われた交流会を一步進め、意見交換
の場、演劇論議が話し合
われるなど、質的な向上を計れる場になれば
……。

また、一劇団には出
来ないような、企画、
あるいはマスコミなど
外に向かってのアビ
ルなどを、連盟が展開
してくれれば……。

劇★派事務所 (ロ)

連盟に加盟してまだ
数年ですが、様々なスタイルを持った劇団の
多さに驚いています。その表現の原理、見
てだけなく、もっと解
釈がある、そんな機会
をつくり出してもらえ
れば、とても参考にな
ると思います。

神奈川県演劇連盟機関誌

ドラマ神奈川

第7号

劇団蒼生樹 (ロ)

県演劇連盟が本格的に動きだしてから、お互
いに顔を合わせることが多く喜んで参加させ
て頂いてます。また、新しい劇団も加盟して活
気が出てきました。

これからは、私たちアチャコ劇団と行政とのパイプ役として、行政を動かせるような存在となつてほしい。そして、私たちの活動が少しやすい環境が整うようになればと思います。おおいに期待しています。

プロジェクト夢樹 (ロ)

国語辞典によれば、「連盟」とは、「同じ目的
のために約束をもすん
で協力すること」とあり、「協会」を引いてみ
ると、「ある目的のため
に会員が協力して設立
し、維持している会
と記されています。編
集部の質問に対するコ
メントには迷いました。
愚見と思いますが、若
い人と年輩の人に分け
ての「演劇連盟」の存
在する目的や意味につ
いての議論の展開を希
望します。

劇団川崎演劇塾 (イ)

実感その一、県の助
成金が貰えるところ。
その二、仲間の劇団の
情報が得られるところ。
そして、自分達の劇団
の宣伝も出来るところ
かな。それでも最近は
行政にそれなりに対応

できる、センターの様
な役割も見えて少々
心強く思っています。
県下の機関紙は読み
きたいと思うし、交流も
生まれ、演劇をやる新
しい仲間との出会いの
場でもあるとおもいま
す。

各劇団に、設問のうちいづれかを選んでもらい
てください。

劇団としてのコメントを書いてもらいました。

(イ)貴劇団にとって「県演連」とは何ですか?

(ロ)県演連に今後望むものは?

劇団蒼い群 (ロ)

今は、年1回の総会

終了後に交流会がもた
れているが会場等の開
催で参加人数が限られ
てしまう。この交流会

以外に、バーベキュー

等のみんなでつくりあ
げる交流会は是非、開
催してほしい。このよ
うな、つくり上げる交
流会を各地で行うのも
楽しいし、合同公演へ
の足がかりのためにも、
共同で何かを行なう機
会を積極的に企画して
はいかがでしょうか。

各劇団共、忙しい中、
大変とは思いますが。



劇団葡萄座 (イ)

以前、神奈川芸術祭
のからみて参加してい
た間際で、連盟に「加盟」「活動」
と云う実感
は正直言つて薄かった。
ここへきて
ての再編に
より実質的な動きが始
まった事で、
加盟劇団間
での交流が
個々の努力次第で可能
になるという状況は大
変好ましく感じている。
弱少ながら我が葡萄座
も、新しいおつきあい
をきっかけに基盤をか
ためて行きたいと思
う。現時点にて云うと、
葡萄座にとっての県演連
とは「はじめの一歩」
という事になる。



劇団葡萄座 (ロ)

連盟に加入して、連盟
は、情報交換や各劇団
のテーマ又は、思想を
知ることだけでなく、
同じ演劇を志す人々
の人間的ふれあいの場
だと感じております。
まだ、参加してから、
遠いのですが、
総会の熱気や、
皆さんと
の交流、
により、
孤立して
いるとい
う観念から、
大きな輪の
中につまつ
て活動してい
ている
という実
感があり、励みになる
と共に、感動してお
ります。もっと、ふれあ
い、勉強していきたい
と存じます。

湘南ミュージカルシアター

LA TERRA (イ)

私はとっても、連盟
は、情報交換や各劇団
のテーマ又は、思想を
知ることだけでなく、
同じ演劇を志す人々
の人間的ふれあいの場
だと感じております。
まだ、参加してから、
遠いのですが、
総会の熱気や、
皆さんと
の交流、
により、
孤立して
いるとい
う観念から、
大きな輪の
中につまつ
て活動してい
ている
という実
感があり、励みになる
と共に、感動してお
ります。もっと、ふれあ
い、勉強していきたい
と存じます。



横浜小劇場 (ロ)

連盟に加盟していく、
もし嫌なことがあると
すれば、それは必要以
上の規制だろう。夫々
の劇団の個性を尊重し、
お互に意見を卒直
に交わし合うことでの
ける場である今の連盟
は、加盟劇団に活力を
与えてくれる。このこ
とが、今連盟に加盟し
ている大きな理由だか
ら、今後とも狭い枠は
ほしくない。もとと多く
の劇団が、全県的なな
広がりの中で参加して
お互いに磨き合えたら、
それこそ「神奈川県
演劇連盟」となる。

ところが、今連盟に加盟し
ている大きな理由だか
ら、それは必要以
上の規制だろう。夫々
の劇団の個性を尊重し、
お互に意見を卒直
に交わし合うことでの
ける場である今の連盟
は、加盟劇団に活力を
与えてくれる。このこ
とが、今連盟に加盟し
ている大きな理由だか
ら、今後とも狭い枠は
ほしくない。もとと多く
の劇団が、全県的なな
広がりの中で参加して
お互いに磨き合えたら、
それこそ「神奈川県
演劇連盟」となる。

劇団かに座 (イ)

簡単のようでは難い
設問ですが、当劇団か
に座として要約すれば
次のとおりとなります。

(1) 県内加入演劇団体
の仲間が知り合い、共
通意識のなかで連帯感
を高める場。

(2) 各団体が演劇の日
常化をすすめるための
よりよい環境づくり。
(3) 上記(2)のために
神奈川県は共に公共團
体等の援助、協力が不可
欠であるので、これの交
渉・要請等を行う窓

劇団恋の会 (イ)

T・ワイルダーに「
池を駆がせる天使」
という短編戯曲がありま
す。ここでその題名を
引用させてもらうと、妻
の会を駆がせる天
使と云ふかも知
れません。妻の会に下
ラマ神奈川とい
う石を投げこんで、溉んで

る水をまきまわせ
ています。まだ無闇
の部分もありますが、
いつまでもそのまま
はいられないでしょ
う。妻の会の中で眠
っているの何がどう目
覚めることになるのか
なりませんが、自分たち
も動きださねば。

G/9プロジェクト (ロ)

巷ではインターネット
が何かと騒がれてい
ます。時代を一つにつ
ななうとしています。
そして今後情報は、よ
り複雑な構造を呈して
私たちの生活と混ざり
合い根付いてゆくでし
ょ。そんな迷路のよ
うな情報の渦の中に何

かを発信してゆくのに、
「劇団」という小さな
単位は、あまりにも無
力です。文化という
名の情報発信基地で、私
達連盟に望むのは、私
たちがこの街の、情報
の港でありたいとい
うことです。

公演スケジュール

京浜協同劇団 6/21(金)~30(日)

木庭久美子／作 室野定子／演出「父が帰る家」劇団稽古場

横濱にゅうくりあ 6/29(土)PM

5:00 30(日)AM11:00 PM4:00

実験劇場「モノローグの可能性」

葡萄座 6/29(土)PM6:30 30(日)

PM2:00「ラン・フォー・ユア・ワイフ」教育文化ホール

湘南ミュージカルシアターLA

TERRA 7/14(日)はまかぜコンサート出演

蒼生樹 7/19(金)~21(日)藤原美鈴／作 濱田重行／演出「逞しき女々」教育文化ホール

横浜小劇場 7/27(土)PM2:00&

6:30 28(日)PM2:00 プロイスター作／加藤衛 訳「大どろぼうホツツエン プロツツ」

シアトルフォンテ

川崎演劇塾 8/2(金)~4(日)

「ラブソング・恋歌がきこえる」

ひとみ座・スタジオ(元住吉)

G/9IProject 8/8(木)PM7:00

作・演出／仲尾玲二「BABY SHOWER PARTY-2わっ」

S Tスポット

河童座 8/16(金)PM7:00 17(土)

PM3:00& 7:00 18(日)AM11:00&

PM3:00作・演出／横田和弘「わしゃ、喰っちょらん」相鉄本多劇場

新人が入りました。近年メンバーの減少と老齢化現象がヒタヒタと忍びより、気がついたらみんな息切れしているような状況の中で、たった2人ですが新しい人が入ってくれました。

篠田三代：昨年7月の「この子たちの夏」に参加したのがご縁で、今年4月に入会。7月の「大どろぼうホツツエン プロツツ」でおばあさんの役をやります。

牧野善道：3月の「レンタルファミリー」を観て芝居がやりとなり、5月に入会しました。7月公演では小道具係を担当します。

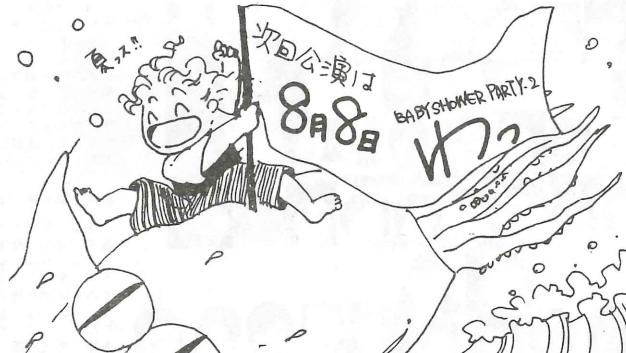
横浜小劇場 8045-261-4866
231・横浜市中区福富町西通り52 嶽演劇研究所内

書く順番がまわってきるのはいいけど
な・何を書いたら……



えと 朝日は今年25周年で…
去年のよろづやの宣伝を入れたいから
フレンドルした三浦千鶴(流川優
い)からしますんで……めんぱりまく
青山年輪館で見るに…めんぱりまく
担当 高岡 ござん

劇団蒼い春羊 80468-56-3157
238・横須賀市佐野町6-41 福本方



G/9プロジェクト 8045-716-5279
〒232 横浜市南区南太田4-38-27 喜楽荘106号

～ある河童座員の華麗な生活～ サボって今日は稽古の日。彼は大学が終わると速攻で稽古場に向かう。東武東上線で池袋まで60分。山手線で品川まで30分。京急で横須賀中央まで55分。駅から青館まで5分。計2時間半。大変ですねえ。

あ、忘れてた。8月16日～18日本番が来ます。よろしくね♥(出ないけど)

そして、彼は稽古が終わると終電で帰るのであった。がーん。

もう普通の生活には戻れない…うふつ。
ばーい ゆーいち♥

劇団河童座 80468-23-7443
〒238 横須賀市日の出町2-6

7月は休せナホトに
むけて、新台本つやけ
制作中!!
必死で新作にむけて
がんばっておきます!!

湘南ミュージカルシアター 80467-85-4313
253・茅ヶ崎市ひばりが丘1-10 前田方

今年の演劇塾は長めになります。
なんと8月、11月の2本立てです。
うわー、演出に劇団東演の津田英三
すいじ、大島隆ヒ太スペクタクルのキャスター
みーんなチャレンジ”とにかくイイぞ”ー、
「大丈夫 大丈夫、だっこ乗っいかぶれ
骨泣の糸のつづやきでした。
ラブリック”8/2~4 セント
恋歌が南にえる」みにぎこたせ

川崎演劇塾 8044-951-9819
214・川崎市多摩区寺尾台2-8-1-12-504 田辺

かに座通信(7)

①新兵器登場 相鉄本多劇場でどうやって骨灰を降らすか、どうやったら降りそぞぐイメージが出来るか、キリキリまでの検討の結果かに座技術陣?が児事に解決、〇〇円で貸出します。

②定期開演 5~10分遅れが当たり前のようになっている開演時間(かに座は5分遅れが多かった)、4回とも定期開演、初めての快挙?これからもそうしたいと思っています。

《No.72 “ONとOFFのセレナーデ”より》

劇団かに座 8045-311-5682
220・横浜市西区岡野町1-3-14 田辺方

新人4人が卒業

『阪沢国作『毒蜘蛛』の卒業公演か
無事終り、打上げでは涙ぐました。運営
委員長の岸井君、「みそ汁は合わせみそ汁」…
日本人と新人を合せて、元気も力も「く」一なる
ほど、養老元気団から脱皮がさむかも。

京浜協同劇団 8044-511-4951
211・川崎市幸区古市場2-109

劇団葡萄座の日常 テーマ:このあとはへ



see at 鳥政

劇団葡萄座 8045-311-8208
220・横浜市西区宮ヶ谷2-2 メン蒲302 山本

いづみやのそばモロに出来なくてすみません。美味しいものが食べたい。お嘆きの皆様へ。

96/6/29(土) 6/30(日)

野毛山フラスコ に於て 12種類の
モロローグ(1人芝居)をお届け致します。

デリシャスでスイートでスマッシー!
丁寧に、アク抜きは一切して
ありますのであしからずoooo。

劇団横浜にゅうくりあ 8045-321-1920
220・横浜市西区中央1-30-17

七北峰秀司先生に心から哀悼と敬意

創設期より育て
者、親として良き指導
者、理解者として
今まで見守つて
下さった先生がその
偉大な生涯を閉じ
られた。
心から冥福
をお祈りしています。
弟であります。

劇団ニユルギ座 80465-22-2988
250・小田原市本町2-2-20 梅月食堂内

横浜の劇団蒼生樹(あ・お・い・き)です。

旗揚げ10年を過ぎても横須賀の劇団ですか? (蒼い群さんとごつちやになる)とか、ソーセージならぬソーセージュさんと言われます。ソーセージに負けないおいしさが詰まった劇団です。皆さん、この機会には是非名前を覚えて下さい。

あおいき・あおいき・あおいき・あおいき・あおいき・あおいき
さあ、あなたの頭の中にはあおいきの文字でいっぱいです。あなたはもう蒼生樹のとりこです。

次の公演は — 7月19日㈭ ~ 20日㈮ ~ 21日㈯

場所は — 横浜市教育文化ホール

「逞しき女々 (たくましきひとびと)」

作・藤原 美鈴 / 演出・濱田 重行

あなたはもう蒼生樹の芝居を観ないではいられない?

劇団蒼生樹 8045-242-3584

220・横浜市西区伊勢町3-133-824 濱田方

横須賀青少年会館。開館25周年記念公演

プロジェクト夢樹プロデュース N o. 1

石井愛美・江口和美ふたり芝居

モンタージュ

作・高泉淳子、伊沢磨紀

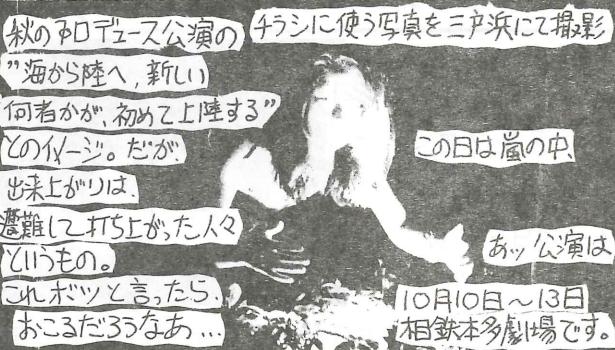
演出・吉本敏克

1996年7月13日19時開演 14日13時開演

県立横須賀青少年開館

劇団夢樹 80468-66-4013

〒239 横須賀市大津町4-43 (☎0468-36-7494) 代表 吉本敏克



劇団★派 事務戸所 80468-27-1631

238・横須賀市大瀬町1-30 ユ・仙王M4FA4

ピールヒマツの会ヒマツ

古の後のある一木木は木格別な味だ!
あの味のビニシ、ヒールが木に「あつがれ
さまー」と言、ヒルのようでニヤリてしまふ。
木の会は、土日祝日の木古行後、里子の
「ヒナヨリ」へ出陣する。みんなよく食おし
しゃべる。その雰囲気でヒテモネリは女子も
樂しい。Saturday night、みなさんもヒナ
リへ来て、一木着に飲みませんか。

劇団木の会 8045-241-2828

220・横浜市西区伊勢町1-61 高津方

誌上討論 (プロ・アマ論) まとめとして

●本誌4号から6号まで連載して参りました「今、アマチュア演劇とは」のしめくくりとして、読後の感想をインタビュー等でまとめてみました。

川崎演劇塾 山寺弘志さん

プロもアマも、お金を取って公演してるし、プロと言われる人達だって他に仕事をしている人もいるということは、プロもアマも同じなんだなと思いました。

アマチュアだからといって手をぬいて芝居をしてる訳ではないし、いつだってパワー全開で芝居を創っています。自分だって芝居に対する情熱は誰にも負けないくらいあります。

だからプロとかアマだとかいうよりも、芝居に対する情熱があるかないかで良い芝居が創れると思います。最後に友達とかに俺、芝居してるんだと言った後「アマチュアだけど」と言ってしまうのはいい。

葡萄座 知念弘樹さん

Q. 今回の討論で感じたことは?

A. 以前はアマという言葉の響きにプロよりも軽いものという偏見が周囲にも自分にもあった。今は活動する上でプロとかわらない意識でやっているが偏見の原因が自分達にあるとしたらもっと努力しなければ、と思う。

しかし、今回紙上討論を通じ改めてアマであることの意義、素晴らしさについて考えることができた。『アマ』と連盟につけることでその可能性が広がるならそれは良い事だと思う。

麦の会 武井法子さん

Q. プロ、アマ論に対するご自身の考えは?

A. こだわりはない。趣味の域ならばアマ、夢中といふことになればプロに近い思考をもっていると思う。趣味の域をこえる、こえないは各人の優先順位ではないか。でも生活していくことも大切。限られた時間でどれだけ集中できるか、その瞬発力、パワーが良い舞台を創る。お金を頂く以上そのレベルに到達しなければいけないという意味ではプロとアマに違いはないと思う。

京浜協同劇団

山本忠利さん

紙面ではそれぞれの劇団のアマチュアとプロの存在の仕方についての思いが語られることになった。共通していたのはでき上がった舞台の評価にアマチュアもプロもないということだったと思う。同時にそれぞれの劇団が地域にどう立脚しているのか、どういう観客とどういう演劇を創り合おうとしているのかを語る結果になったと思う。ただ問題提起者が言う、アマチュアリズムが持っている優位性についての論議にならなかったことは残念であった。創造の質においてプロとは別の基準で評価されるのではなく、観客におもねるのではなく、観客と共に生きながら、ベクトルを持った思考する舞台を生み出すことが地域劇団の求められている役割のような気がしてならない。

ステージ見聞録 3月→6月

横浜小劇場

「レンタルファミリー」

作・砂本 量

3月16日・17日

関内小ホール



川崎演劇まつり

三劇団合同公演

「モモ」

作・ミヒヤエル エンデ

3月30日・31日

幸文化センター



大変面白く拝見させて頂きました。舞台装置、音響照明もよくマッチしていた様に思いました。ただ難を言えば演出の力点が散在してダイナミックさに欠けていた様に感じました。例えばレンタルファミリーを迎える前の老夫婦のありさまが最後の老婦の一人立ちに結びついてこない点が残念でした。又、レンタルファミリーに意欲を燃やす家族の存在感が、団結感がもう少し線が太く描かれていても良かった様に感じました。老婦人の最後の立ち去る前のセリフの影響力をどうとらえるかが、やはり観る方の演じる方の一番のポイントの様な気がします。その点でとてつけた様に芝居が終わってしまったのは残念な気がしました。「濡れ落葉防止条例」に続いての熟年夫婦、老夫婦に照準を合わせたお芝居を見させて頂きました。非常に見につまされるお芝居であり、熟年、老年の方は是非夫婦で見にこられた良かったと思います。これこそ日常生活を取り上げた良さが必見された作品でした。

(担当 蒼い群)

強く印象に残っているのは、カッチリした舞台としつかりした演技から生れた重厚さであった。あれだけ舞台を飾り、場面を彩る照明や効果の良さは、ウラの技術の確かさから来るもので、合同公演の強みといえる。

灰色の男たちを、主として行動座のメンバーで固めたのも、他との演技の対比が男たちの異質な存在を示して、キヤスティングが効を奏した。子どもたちもよく動き、群集場面をうまくまとめた演出のご苦労がしのばれる。歌や踊りもそつなく、やがて時を取り戻して楽しい表現をみせたが、全体の「流れ」がどうしても重厚という印象になつた。個々の場面のテンポの良さが、トータルでは軽快でなかつたのは、或は脚本の構成の仕方に丁寧すぎるくらいがあつたのか、とも思えた。しかし見応えのある舞台で、川崎の実力を見せつけられた思いがする。

(担当 横浜小劇場)

京浜協同劇団、川崎演劇塾、行動座 合同公演

こゆるぎ座

野村信太郎さん

「今日来て下さったお客様は、わざわざ忙しい時間を割いてこの小屋にきてくださった、精一杯感動して帰って頂こう。」昨今の芝居をみていると、その辺を履き違っている「プロ」が多いよう気がする。笑いも感動を与えるための大事な要素には違いないが、楽屋受けの笑いにばかり奔っているような気がする。笑いだけが感動じゃないはずだ。仲間内の自己満足を舞台に乗せる事くらい、恥ずかしい事はない。その時代、人所、観客などを考えれば、色々な喜怒哀樂が、伝えられるのではないだろうか。その意識を持つつか持たないかが、「プロ」と「アマ」の差だろう。私は、お客様からお金を頂戴している以上、どんなに小さな劇団でも、「プロ」だと思っている。そのために、どんな稽古を積んでいくかが、これから演劇界の課題だろう。

「アマチュア演劇」という理念はもと展開されるべきだと思つ。アマチュア

真に追求していくべきだと思つ。アマの違う生き方、生活におけるかどうか、違いには残らぬと思います。

プロの様。アマの様。たった二つの様…。

「プロたゞアマたゞ」は区別したがる人に、芝居のいい手はいりないと思つります。

横流にやうりあは、おでの表現活動がは、プロ、PZの差は、といふことは、いつまでもあります。

「2247」という名前は、いつまでもあります。

お手にこぶし。

個人への感謝と価値感の内面ではないかと思ひます。

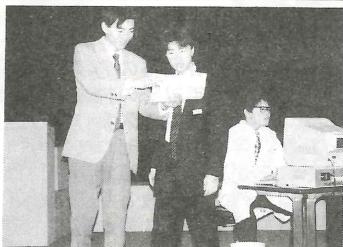
芝居に対する何なのか、とつづく考え方には、必ずしも何がアコボのかと、考え方にはあります。アコボのかと、考え方にはあります。

（座長代表 関口秀大）

個人への感謝と価値感の内面ではないかと思ひます。

生活態度が異なるたたけで、どうぞくくりはプロアマ、アマとしている考え方なので、どちらもよいと思ひます。要は対外的にどうかあります。

葡萄庄はアマチュア劇団（市民劇団）です。色々紙面で、読ませてもらひました。アマチュア劇団の言葉に、こころは必要ではないと思ひます。アマチュアと、ケンシツが、個々の劇団のカラーや活動に支障をきたさないで、あこがれが必要ですね」と思ひます。連盟規約へも、この点を尊重していけるように思ひます。



G/9プロジェクト

「がっつん」

作・演出/仲尾玲二

5月25日・26日

相鉄本多劇場



今回、初めてG/9プロジェクトの公演を観る機会に恵まれ、創作物という事で、「とつつき難いのでは？」という潜入感があったが、そんな心配は全く感じさせる事なく、いつの間にか、芝居に引き込まれていった。

まず今の若者調のノリで始まって、一転シリアル的な芝居へと移り変わる。現実と幻想的な世界との違いが、なかなかうまく表現されていたと思う。心に残ったのは、優秀な種だけを残し、その他、全ての人間を海に還そうとするシーンだった。人間の地球に対する様々な仕打ちを考えると、人間は地球上にあって必要な生き物で、これからも仲良く共存できるとは、言い切れない様な気がした。

劇中の音楽や弾き語りも効果的で、客席に向かいた目のくらむような照明を使った場面は、特に印象的だった。役者陣も、それぞれ個性的で、エネルギーッシュな魅力もさる事ながら、スピードナーな芝居展開にも楽しむ事ができた。次回も期待したいと思う。

(担当 葡萄座)

劇団かに座

「ONとOFF のセレナーデ」

作・古城十忍

5月10日～12日

相鉄本多劇場

ある病院の一室に陣取る葬儀屋の営業マンを中心にパソコン通信をする3人の登場が始まった。

実際に逢ったことがなく通信で知り合い仲間となった4人が待ち合わせをして逢うこととなる。

お互いを勝手にイメージしながら逢う日を楽しみにして、通信での会話が弾んでいる。

しかし、その内の1人が最近会話に入ってこない。その彼からのみんなへの意味不明のメッセージ…。

そんな中で、待ち合わせの当日をむかえるが、急な葬式で行けなくなった営業マン。だが、その死人がなんとパソコンの仲間だった。また、なんとか対面できた他の二人も自分の抱いていたイメージと全然違った……。

病院を舞台としての人の生と死を通して繰り広げられる世界と比べ、理想の世界がパソコン通信の世界なのだと感じた。

たしかに、会ったことがなくてもできる友情もありえる。しかし、私たちが実際に生にふれあってできる友情とは別世界なのである。

人ととの“ふれあい”を考えさせられました。

(担当 蒼生樹)

新人の声

湘南ミュージカルシアター
LA TERRA(ラ・テラ)

前田尚美

劇団を始めてから、はや6年の月日が流れました。華やかな夢々しい舞台にあこがれて女性だけのミュージカルサークルとして活動してきました。全く一人で募集から始めたので旗上げまでに2年かかりましたが、内容はやつと本番を終える事ができたというめちゃめちゃな公演でした。役者同士の人間関係という底辺からくずれていった公演でした。なぜか、という疑問を残したまま次へと進むこととなり、少しでも本物に近づきたいと稽古を重ね、公演ごとに、なんとなく団員同士の関係も、まとまってきたような気がしたが、何が変。いつも舞台で一生懸命演じようとしている自分に気づき、その中で、心も死んでいるようで、何だろう、このものたりない感覚は、と思うようになりました。何が、つめこみ式勉強法のような稽古みたいだと感じました。

それでは、もっと生き生きとした息づきのある舞台は、どうしたら生みだせるのかと考えるようになり、今までのものから180度変わった舞台の創造をと、新たなる決意を示し、劇団ラ・テラが生まれました。

私達は、様々なゲームを通して、役者同士のアンサンブルを育てる稽古にはげみ、あたたかい、息づきのある舞台をめざして探求していきたいと思います。

始まつたばかりの、卵の劇団ですが、がんばっていきたいと思いますので、皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

県演連のコーナー

レポート
劇団かに座

田辺晴通



理事会の報告

’96年度第2回理事会を去る5月18日(土)午後2時から、当かに座稽古場で開催した。

(1) 県への要望に関する県との懇談について=県への要望書は各団体に配付してあるので読んだ人も多いと思うが、その内容は青少年会館の廃止問題等文化室だけでは対応できず、又直ちには回答できない事項も多いことから、県演連と懇談を持ちたいとの申し出があり全員了承した。(6月15日(土)かに座稽古場にての開催が決定、各団体理事からそれぞれ説明がなされるであろう)(2) 横須賀青少年会館の問題について=県立青少年会館の廃止(市への委譲)が打ち出され、すでに紅ヶ丘青少年会館利用団体が廃止反対の署名活動を行っているとのことであるが、横須賀地区演劇団体も5月16日県に赴き存続について申し入れたとの報告があった。8月中旬に結論が出るようになつたがこれはこと横須賀だけの問題でなく、県の行政姿勢について世論を喚起し反対していく必要があろう。(3) シンポジウムの開催について=横須賀演劇連盟ほかによる『三浦半島演劇祭'96』が開催されることのなかで、9月1日(日)「地域と演劇」をテーマに県演連共催のシンポジウム開催が決定された。各位の参加をお願いしたい。(4) 赤レンガ地区での「横浜アートLIVE'96」について=横須賀赤レンガ倉庫地区に特設テントを張っての、10月21日から11月20日まで演劇中心のイベントを行う。というものであるが、主催・予算等が未だ不明確であり見切り発車の感じもあるが、文化室から参加要望もなされていることから横浜地区だけのことではない認識を持つ必要があり、又、5月30日実行委員会開催の呼びかけがなされていることから一人でも多くの仲間が出席し方向を把握することになった。(5) '96年度「神奈川県演劇フェスティバル」について=補助金の著しい削減から県でいう合同公演の方向性は不能、よって本年度は9月~12月のそれぞれの公演をフェスティバル参加とすることにした(県了承済)。各団体の公演は本誌及びちらしなどで把握願いたい。(6) 明年以降の神奈川県演劇脚本コンクール上演のことについて=昨年度の入賞作品は劇団蒼生樹が上演することになったが、伴う補助金ゼロであり(他の支出科目から一部補てんはされるが)、本年の募集要項には上演する旨が削除されているとのこと、文化行政として問題とすべき事項である。このほか「ドラマ神奈川」7号の編集内容等について意見交換を行った。

ベテランの声

劇団麦の会

山元洋一

今年は忙しい年になります。なんといっても来年は劇団創設50周年。40周年のような勢いはありませんが、なにかやりたいです。

それから、長年「稽古場」として使用してきた「岡野青少年の家」が、どうやらほんとに浅間町車庫のところに出来る施設に吸収されそうなんです。工事はどんどん進んでいます。立地条件もよく、比較的自由に使え、かつ使用料も高くない。何といっても公園の中に建っているので、近所迷惑にならないからかなりのボリュームで稽古できる点がまたまらなくよかった。

手をこまねいていても自らの利益にはならないから、同じような利用団体と連携して「何とかしなきゃ」と考えてはいるんですが、なんせ計画を直には知らない我々じゃあどこをどうつつきやいいのか皆目不明。いい知恵あったら教えてください。

もう一つあります。これはもうすこし経たないと具体的な計画がでてこないようですが、市立図書館の立て替え中の施設を「野毛フラスコ」として、大道芸や演劇団体が利用している訳ですが、フラスコに程近い旧税務署跡地に発展的に移転する計画があるそうです。まだ器の大きさや、中身の検討までは進んでいませんが、「野毛の町を、人が集まり活気のある町へ」と考え「野毛町づくりの会」の方たちが積極的に活動を展開しています。私たちの意見も聞いてくださるようなので、これまた楽しみです。

【訂正】前号5頁の津田英三氏の文中、誤りがありました。2段目右から13行目以降を次の様に訂正します。
「手作りの仕事というのはそれだけ割の合わないものなのです。」——関係者各位に深くおわびいたします。

連絡会報

平均年令がぐっと下がった神
ドラ編集員? 次回は藤沢にての。
会議なのでひと味違う企画がで
るのでは…と楽しみです。(泉)

「ドラマ神奈川」が、増々発
展充実し、情報や理論満載とな
り、本屋さんでも引っぱりだこ、
という所で目が覚めた…。(祭)

初めての参加で早速大失敗。
真黒な葉書が届いた皆様ごめん
なさい。とにかく頑張ります。
(菊・太)

今、読者の熱いまなざしが痛
い。などと勝手に思っているの
は編集部だけなんて思いたくは
ない。(川崎演劇塾 団)

「ドラマ神奈川」第7号
(編集・発行)
1996年6月30日発行
神奈川県演劇連盟 横浜市中区福富町
☎ 045(261)4866 西通り52